家庭を築き結婚生活 において聖人となっ た人たち。『愛のよ ろこび』家庭年の閉 幕に寄せて

『愛のよろこび』家庭年の閉幕を1カ月後に控える2022年5月26日(木)に、「聖性・結婚・家庭」をテーマにした第2回シンポジウムが開催されます。

2022/05/22

このシンポジウムは、5月26日 (木)、ローマ時間の16:00(日本時間23:00)から18:30まで教皇庁立聖 十字架大学で開催され、イタリア語 (Youtubeチャンネル)、英語、スペイン語(Zoomプラットフォー ム)に翻訳してオンラインで視聴することができます。直接参加したい方は、こちらのリンクから無料登録が可能です。

また、列聖された夫婦や列聖の過程 にある人々の友人や彼らの伝記作家 たちが証言します。また、列聖請願 人が参加する円卓会議も予定されて います。主な内容は以下の通りで す。

・2001年、一緒に列福されたイタリアの夫婦、福者ルイジ・ベルトラメ・クアトロッキと福者マリア・コルシーニ。聖ヨハネ・パウロ二世教皇は「二人は、平凡な人生を並外れた方法で」生きたと語っています。

証言者は二人の伝記を執筆したパオ ラ・ダル・トソ教授です。

- ポーランドで「マルコワのサマリア人」として親しまれているヨゼフ・ウルマとヴィクトリア・ウルマ。証言者は列聖請願人のヴィトルド・ブルダ司祭。
- ・ジョバンニ・ゲド(建築家)と ローザ・フランジ(教師)は、「常 に神に喜ばれる存在でありたい」、 「人に良いことをしたい」という望 みを生きたカトリック・アクション のメンバーでした。証言者は列聖請 願人のリア・ラフロンテ(弁護士) です。
- エドゥアルド・オルティス・デ・ランダズリ (医師) とラウラ・ブスカ・オタエギ (薬剤師) は、特にパンプローナ (スペイン) の家庭や病人への惜しみない奉仕がその生涯の特徴です。今回の証言者は、列聖請

願人のフランチェスコ・カロジェロ 教授です。

- ・フランコ・ボノとマリア・ロザリア・デ・アンジェリスは、一市民として、また、教会の成員として、でして、職業人としても、模範的な生き方を貫きました。マリア・を置きました。マリア・参加し、多くの人々に多大な影響を与えました。彼らの列聖請願人ピエトローメ司祭が、その人生について語ります。
- ルワンダでの虐殺の殉教者であるシプリアン・ルガンバとダフローズ・ムカサンガを、伝記作家で『ルガンバ家、天国で踊っている』のまるジャン・リュック・モーンズの協力によって紹介します。ニュスの夫婦は、殉教する前に、エリストリック・カリスマル共同体とカトリック・カリスマル新の両団体を自国に招き入れました。

PDFリンク

当日は、マルチェロ・セメラロ枢機卿(列聖省長官)が紹介し、フェルナンド・オカリス師(オプス・デイ属人区長)が閉会宣言を行う予定です。神学者のカルラ・ロッシ・エスパネッテが夫婦の聖性についてのガイドラインを考察します。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/ Katei-to-Kekkon-amoris-laetitia/ (2025/12/13)